



香港へようこそ

150 年程前には、「不毛の岩山」と呼ばれた香港は、いまや世界で最も自由な経済地域、世界屈指の金融・貿易・ビジネスセンターに成長しました。人口が少なく、また地理的面積も小さいにも関わらず、香港は世界第10位の貿易高を誇ります。

150 年間に及ぶ英国統治が終了した 1997 年に、香港は中華人民共和国の特別行政区になりましたが、中国返還後も高度な自治が認められており、香港の基本法によって商業、政治、個人の自由が保証されています。

香港早わかり

地理

香港の総面積は 1,100 平方キロメートルで、九龍、香港島、新界、周辺諸島、の4つの区域で構成されています。九龍と新界は中国本土の半島に位置し、30 キロメートルの境界によって本土から隔てられています。複数の港湾を有する香港島は、ビジネスの中心地であり、世界的に有名なホテルが密集しています。周辺諸島は、香港島以外の 262 の島々を指します。

政治および司法制度

中国と英国の合意による「一国二制度」の下、香港は外交と防衛を除くすべての行政分野で自治が認められています。また香港の法制度は、主に英国の法制度に基づいています。

人口

香港の人口は約 710 万人で、うち 95%が中国系です。

言語

香港の公用語は中国語(広東語)と英語です。経済界では英語が広く使われており、中国本土の公用語である標準中国語(北京語)も普及しています。

気候

香港の気候は亜熱帯性で、季節周期性があります。冬の気温は摂氏 10 度以下に下がることもあり、夏は摂氏 30 度を越えることもあります。4 月から 9 月の降雨量が年間降雨量の約 90%を占めます。

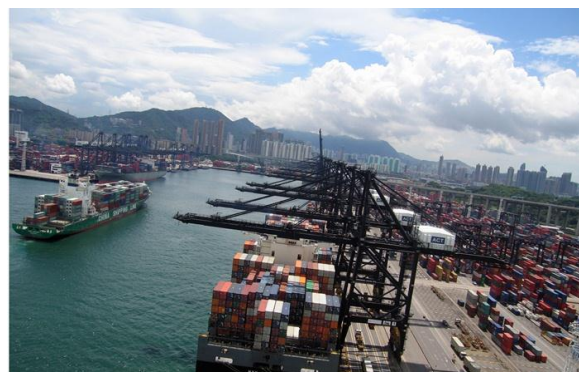
インフラ

香港のインフラは世界でも高水準にあります。世界トップクラスと評価される香港国際空港は、海外約 170 都市、および中国本土 49 以上の都市と香港とを結んでいます。また香港には、貨物取扱量世界一の国際コンテナ港と航空貨物輸送ターミナルがあります。公共交通網も効率的に機能しており、毎日約 1160 万人が利用しています。また毎日 4 万台以上の自動車が、香港と中国本土を往来しています。



経済

- ・ 世界第10位の貿易高
- ・ 自由貿易、自由市場、世界で最も自由度が高いと評価される経済
- ・ アジアで3番目に大きな株式市場
- ・ アジア第二位の海外直接投資 (FDI) 元
- ・ アジア最大のベンチャーキャピタルセンター
- ・ 一人当たり GDP は約 32,000 米ドル
- ・ 低税率 (個人所得税率 15%、法人税率 16.5%)
- ・ 付加価値税 (VAT) なし、売上税なし、キャピタルゲイン課税なし
- ・ コンテナおよび国際空港貨物取扱量、世界一
- ・ 米ドルにペッグした安定通貨



社会

- ・ オープンで透明性の高い法制度
- ・ 自由貿易、自由市場、自由なメディア
- ・ 高い教育水準
- ・ 外国からの投資に対する規制なし
- ・ 資本の流れに対する規制なし
- ・ 便利で、コンパクトで、コスモポリタンな街

中国との関係

- ・ 中国ビジネスに関する比類ない経験
- ・ 中国に対する世界最大の投資元
- ・ CEPA (経済貿易緊密化協定) の恩恵が享受できる



国際電話の国番号

852

時差

グリニッジ平均時 (GMT) +8 時間

